天明けやきの会　会報

けやき

第４３号

●１ページ
・新年のご挨拶
・今年の目標「人の和を愛と絆で」
●２ページ
・けやきの会 第 450 回記念講演会報告
・けやきの会 毎月の講演のご案内
●３ページ
・フォトギャラリー・今後の予定
●４ページ
・操法仲間
６か月の赤ちゃん・ウサギのウーちゃん

複雑さを極める現在の社会環境で、健やかに生きるためのヒントを。氣功・呼吸法・一日本断食とまず実践できることから体験してみませんか？月一回、東京八重洲で理論と実践の講演会を開催しています。

発行日：平成３０年　２月
発行者：心健導場主宰　天明
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://keyaki-no-kai.net

◆新年のご挨拶　平成 30 年 2 月 16 日

昭和の世は、 国外との激動の世でございました。 平成の世は世界は国内で災害が起きると感じましたがその通りになりました。 原発事故、 東日本大震災、 熊本の震災とあり、 世界中より善の和をいただきました。 平成 7 年 1 月、 阪神淡路大震災にはショックでした。 3 月のオームのサリン事件は国内外を震撼させました。

平成7年の目標は「人の和」としましたが、 人々の善の和と悪意の和をまざまざと見せつけられましたね。 今なお不便な生活を強いられている方々がいらっしゃいます。

平成 30 年は人の和に、 プラス、 愛と絆で思いやりの心で仲良く助け合って一年を過ごしましょう。 平成天皇の御退位も決まりました。この一年おだやかないい年で有りますようにお祈り申し上げます。

◆目標「人の和を愛と絆で」

ひと月遅くなりましたが、 おめでとうございます。

おだやかな温かくていい三が日でしたね。

賀状が遅くなりましたのは、 実は平成 29 年 3 月 18 日 夫が他界いたしました。

すーーーっと、 いつ行ったのか分からないような最後でございました。 皆々様ありがとうございました。

さて、 初詣はいつもの神田明神でいたしました。

マンリオ・カデロ大使（サンマリノ共和国大使で特命全権大使、 外交団長）に、おはこびいただくので、 御昇殿に上がり、参拝いたしました。

参加者 30 名 全員 が すがすがしい厳かな気分を受け取れた、 素晴らしいスタートができたと喜んでいただきました。

新年会は、「あけびの実」でいたしました。 その席で挨拶しましたが、 国民一人一人が生まれながら持ち備えている生命の治癒力・免疫力を使って、 健康保険・生活保護費などで国のお世話にならないように意識を変えていきましょう。 今からやれば、 まだ間に合います。 自分が元気でいるときから準備しましょう。 自分の生命は自分で守る意識改革です。

800 万人の団塊世代が老人を迎えます。 健康保険はなくなり、 薬も病院もかかれませんよ。 難病奇病ほど、 自分が病気と真剣に真向かえば、腸・骨・腎臓・肝臓が絶妙のバランスで身体を守ってくれますと NHK「シリーズ 人体神秘の巨大ネットワーク 」 で放映していましたね。

操法をはじめて 50 年になりますけれども、身体を細分化して観てはいけない。 身体は大きな一つの袋で、 お互いに各々の臓器は助け合って全身を調整してくれているのだから、 全体を整えれば、 自然に整ってくると言い続けてきたことが NHK の放映で証明してくれました。

今年は原点に戻り、 赤ちゃんやウーちゃんに教わって、 縄文人の生き方を学び必ず来る老後に備えましょう。 我流でやってはいけません。

東京八重洲で手当の体験会や意識改革を伝えています。抗がん剤を使用している方、 アトピーの方、 心身症の方などお出かけください。 これらを乗り越えられた方の体験も聞けますよ。 お気軽にご連絡ください。

◆けやきの会 第 450 回記念講演会ご報告

平成 29 年9月9日けやきの会 第 450 回記念講演会が行われ、 盛会に終わりましたことをご報告申し上げます。お忙しいところお越し頂きまして、ありがとうございました。けやきの会が自宅で月一回の法話会からスタートし、 おかげさまで 450 回を迎えることができました。 今日までの温かいご支援に深く感謝申し上げます。

近年長寿化社会に置いて、 今後ますます健康に対する自己管理能力が求められていくと天明は考えます。

昨今、 人間に本来備わっている自己治癒能力、 すなわち、「免疫力」への関心が高まっており「自分の身体は自分で治す」ということが不思議ではない世の中になってきました。

今回の講演会開催に当たり、 サンマリノ共和国特命全権大使 マンリオ カデロ様と旧梨本宮家当主 梨本隆夫様をお迎えしてご講話いただきました。

世界中で注目されている縄文人の生き方を学んで、 生命力、 治癒力、 免疫力を高め、 元気と希望を感じて、より健やかな日々をお送り頂きますよう願っております。

ありがとうございました。

マンリオ カデロ様（右）
梨本隆夫様（左）

◆けやきの会 毎月の講演会のご案内

けやきの会の講演は「病気になってからどうしようではなく、 病気にならないためにどうするか」の理論と実践を体得する場です。

「医者いらずの健康法研究会」として、 縄文人の宇宙と自然の摂理（すじみち）に沿った生き方を学び「呼吸法」「天明氣功」「瞑想」「らくらくできる1日本断食」を実践して国に迷惑をかけない生き方をしましょうの会です。

「自分が頂いた生命は自分で守る」わかっている方はそう多くはありません。 病気になった時どうされますか？すぐに「医者に行く」「薬を飲む」が当たり前になっていませんか？

自分が頂いた生命は自分で守ると素直に受け入れた時、 不思議なことが起きます。 身体が勝手に変わっていきます。 それは眠っていた「自然治癒力」が目覚めるからです。

ヒトや動物、 植物も生まれながらにしてこの力（パワー）を持っています。この力(パワー)を働かせるかどうかは、あなた自身の意識のもちようです。

●けやきの会講演会（毎月）
場所：東京八重洲倶楽部（東京駅より徒歩わずか）
日時：毎月第二木曜日 18:00 ～ 20:00
お問い合わせ先：090 ― 2768 ― 8109

天明けやきの会ホームページの開催情報にも詳細がでています。
http://keyaki-no-kai.net

●忘年会　12 月 14 日　カナルカフェ飯田橋にて、参加人数 18 名

お堀に映ったライトの景色が素晴らしくて、しばらく見とれていました

●新年会　1 月 11 日　神田明神、あけびの実にて、参加人数 30 名

カデロ大使もご一緒頂き、神田明神に
ご昇殿させていただき祈願しました

●今後の予定　詳しくはホームページやブログにて発表します

４月　縄文遺跡見学など

６月 30 ～７月１日　サンマリノ共和国ツアー
どうぞ皆さん マンリオ カデロ大使もご参加くださいますので、
今から予定に入れておいてください。

♪操法仲間 6ヶ月の赤ちゃん 神奈川在住 平成30年1月19日

6ヶ月の赤ちゃんが、母乳・離乳食を食べた後、急に戻すようになり、血の気が引いて顔色が白くなりぐったりとしてしまいりました。
病院へ行き、薬はもらっても、飲ませませんでした。
診療待ちの間に天明先生に電話すると、温湿布の手当法を教わりました。
帰宅してすぐ実践。お腹(丹田)に2回温湿布したら、目がパッチリとしてきて、3回するとニコニコ笑顔が出てきて、手足をバタバタ、顔に赤みがさしてきましたので、白湯をあげた後、母乳をあげました。
私も母もびっくり！！こんなに一瞬で良くなるなんて！！今は元気に過ごしています。天明先生、ありがとうございました。
子育ての悩みを聞いてアドバイスしてくださったり、高熱を出したときの対応、異常な大声で泣き止まない時など、どうしていいかわからない時、夜中でも対応してくださり、安心して子育てができています。

●天明からの一言
これを読んで勝手に手当てを絶対にしないでください！天明に必ずご連絡ください。
30年1月14日NHK「シリーズ 人体 神秘の巨大ネットワーク」で、腸の働きを放映していましたね。ご覧になりましたか？
赤ちゃんは母乳のおかげで免疫力が強く働いてくれていますので、生命力や治癒力を引き出す手助けを少ししてあげると、あっ！！という間に変化しますよ。

♪操法仲間 うさぎのウーちゃん 山梨在住 平成29年12月25日

平成29年12月25日のこと。我が家で飼っているウサギのウーちゃん（2代目）がベランダでおしっこをした後、ベランダに置いているゴミ箱の中に入りいたずらしていて、ゴミ箱の中に捨ててあったホッチキスの針をふんでしまい、針が右足中指の爪と身の間に刺さってしまいました。
自分で針を口で抜こうとしましたがとれず、しきりに足を舐めているのがわからなかった。抜けなかったので、爪と一緒に歯で抜いたのがあとでわかりました。すごい血が床に流れていました。
ずーっと舐めているので、「どうしたのみせて」と言っても、泣きもせず、痛い痛いと騒ぎもせず、声も出さずに、ずーっと一生懸命に舐め続けていました。
10分くらいたったでしょうか、血が止まったのをウーちゃんなりに確認すると、私の周りをグルグル10回くらい回った後、「こっち、こっちに来て！」というように振り向きながら行くので、ついて行くと
私がいつも座って晩酌する椅子のそばに、爪とホチキスの針が並べておいてありました。
爪と針をぬいた場所は、多量の血がありましたが並べて置いてあった場所は違いました。
よく一人で泣きもせず、痛がりもせず、やれたと、涙が止まりませんでした。
人間だったら・・・考えたら、動物は人間よりすごい！！と思いました。
1～2日して足を見ると、腫れもせず安心しました。
1週間ほどすると米粒くらいの爪が再生してきていて、またまたホッとしました。
13年飼っていた一代目のウーちゃんが、2日間たったまま寝ていて、横に寝ていいんだよと横に寝かせた翌日朝の12月25日亡くなりましたので、一代目のウーちゃんが守ってくれたと思いました。
天明先生がいつもおっしゃっている、『縄文時代の人間は動物から教えてもらった。縄文人の生き方を学びませんか？』
あらためて「自分のいのちは自分で守る」をウサギに教わった新年でした。